おいしいお米はここから
日本一の疎水が育む豊かな大地

国営かんがい排水事業（北海地区）

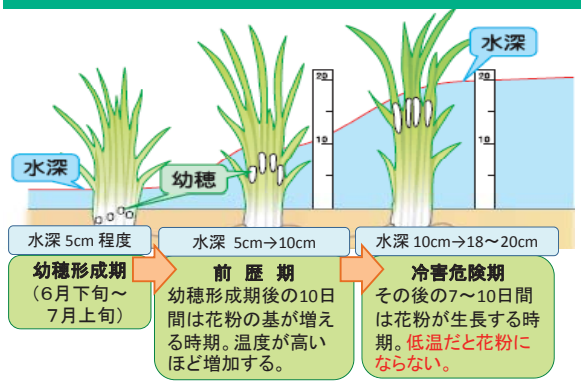
- 北海幹線用水路は、北海道の約2割の水稲を生産する米どころに農業用水を供給する全長82kmの水路延長を誇る長大水路（農業専用水路では全国一）
- 北海道遺産、疎水百選にも選定

◆北海灌漑溝工事【大正13年～昭和4年】
農民の悲願であった、空知の農業を大きく変える大規模なかんがい事業が実施。４年４ヵ月という短期間で完成。

◆国営かんがい排水事業「美唄地区」
【昭和33年～昭和54年】
土水路からコンクリート水路に改修する大工事を実施。

◆国営かんがい排水事業「空知中央地区」
【昭和54年～平成20年】
地域農業の近代化に伴う、深水用水の増量等に必要な改修工事を実施。

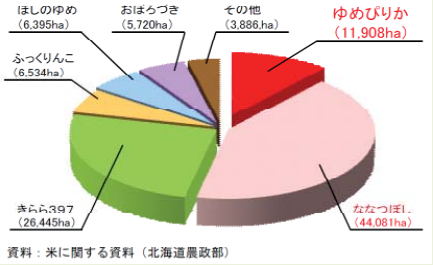
深水かんがいにより冷温に弱い幼穂を保温



出典：H24営農の手引きより（上川農業改良普及センター）

- 北海幹線用水路の整備により、気温より平均３～４℃高い水温を活用する深水かんがいが可能に
- 耐冷性が低い「ゆめぴりか」には、冷害を防止する深水管理による栽培が有効で、食味ランキング最高位「特Ａ」の獲得に貢献

【北海道の水稲品種の作付面積（H24）】



品種改良、深水かんがい、客土などの基盤整備により、「ゆめぴりか」等を生産

平成２２年　国営かんがい排水事業「北海地区」着工

■老朽化施設の更新

【用水路の改修状況】

【改修後の用水路（イメージ）】